

自ら**学ぶ力**をはぐくむ**豊かな心**をはぐくむ**健康な体**をはぐくむ**郷土愛**をはぐくむ

県北プライド



「夢をかなえる教育」「笑顔あふれる学校」をめざして

校長 阿部 央

期末テストに真剣に取り組んでいました。

6月24日(水)に第1学期期末テストを行いました。前日まで、昼休みの時間も期末テストに向けた自主学習に一生懸命に取り組んでいる子どもたちの姿を見てきました。自分が掲げた目標を達成しようという意気込みが感じられる1週間でした。一人一人が昨日の自分自身を超える結果が残せたことを祈っています。



【昼の学習会の様子】



【いじめに関する熟議の様子】

県北中『いじめ0宣言』～いじめに関する熟議～

本校の生徒会では平成26年3月に『いじめ0宣言』を掲げました。この宣言を達成するために年に2回「いじめに関する熟議」を行っています。

6月12日(金)に1回目の「いじめに関する熟議」を行いました。本来であれば、小グループを編成し対面形式での話し合い活動によって考えを深めたいところですが、新型コロナウイルス感染症予防のため対面形式での話し合い活動は控えしました。それでも級友の様々な考えに触れることで、いじめ根絶に向けた取組みの大切さを感じ取っていたようです。

第2回は11月27日(金)に実施する予定です。新型コロナウイルス感染症の終息状況にもよりますが、お時間に都合がつくようでしたら保護者の皆さまもぜひご参観ください。

【1, 2学年の事例】

体育の時間にバスケットボールの試合をした際、球技の苦手なBはミスをし、Aからミスを責められたり他の同級生の前でバカにされたりし、それによりBはとても嫌な気持ちになった。

見かねたCが「それ以上言ったらかわいそうだよ。」と言ったところ、Aはそれ以上言うのはやめ、それ以来、BはAから嫌なことをされたり言われたりしていない。

その後、Bもだんだんとバスケットボールがうまくなっていき、今では、Aにバスケットボールをしようと誘われ、それが楽しみにしている。

○ 前半はAの行為はいじめに該当するのかを個人で考えた後、学級全体で考えを出し合いました。

○ 前半の活動をもとに、後半は学級のアクションプランをまとめました。

【3学年の事例】「沈みゆくボート」

嵐で船が難破し、7人が救命ボートに乗り込みました。しかし、このボートは6人乗りのため、しだいに沈み始めています。このままでは7人全員が命を失ってしまいます。

その7人とは

- ① 身寄りのない老夫婦
- ② 5歳の幼児
- ③ 屈強なスポーツマン
- ④ 余命1年と医師から宣告されている病人
- ⑤ 大家族を養う父親
- ⑥ 将来は国内有数の大企業の社長になるとされている青年
- ⑦ 以前にニュースにもなった巨大な暴走族の元リーダー

です。

ボートは刻一刻と沈みつつあります。あなたはどうすればよいと思いますか。

○ 前半は個人で対処法を考えました。

○ それぞれの対処法を聞き合い、自分の考えを再度整理し、自分なりの最終結論を決定しました。